

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 家 庭 ） 学年（ 1 学年 ）

目指す授業

- ・作業を通し基礎技能を繰り返し学習させ身につけさせる授業。
- ・授業内容を生かし、自分の家庭生活に反映させることのできる実力をつける授業。
- ・2、3学期は調理実習を入れることにより、興味・関心を引き、家庭科を積極的に取り組もうという姿勢を作らせる授業。



授業・アンケート等の課題分析

- ・前回の授業内容の小テストを行っているが、学習内容は理解していても、記述することに不慣れた生徒が多い。
- ・小学校で学んだ基礎技能に個人差がある（ボタン付けやミシンの扱い方）ことも課題である。
- ・2、3学期の調理技能を確認し、実力に見合った授業を行う。



成果と課題

成果

- ・長期休業中に衣食住の課題をこなすことにより、実力が付くようになった。授業で行った調理実習は個人個人に行わせたため、家庭でも自分の家族のために食事を用意することに役立った。

課題

- ・まだまだ、保護者の手伝いしかできないパターンや、保護者が手を貸すパターンが散見する。「将来の一人暮らし」のための実力をつけるために、生徒本人がやる気を見せ、保護者の手助けは最低限にするように持っていくための方策を考える。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 家 庭 ） 学年（ 2 学年 ）

目指す授業

- ・作業を通し基礎技能を繰り返し学習させ身につけさせる授業。
- ・思考し課題を発見できるようにする授業。



授業・アンケート等の課題分析

衣生活分野における作品製作では、年中行事や学校行事に合わせた作品製作を行った。事前準備をしっかりと行い、実技テスト形式により実行することで効率よく作業にあたれている。



成果と課題

成果

- ・作業に良い意味で慣れ、集中して課題に取り組めるようになった。その結果、長期休業中の課題の中の家族の感想の中にも「成長が見られてうれしい」等の感想が増え、生徒にも達成感が考えられている。

課題

- ・作業を通し、製作や料理などに積極的に取り組んでいるが、言語体系が整っていないために、評価・評定につながらない生徒がいる。繰り返し確認作業を行うようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 家 庭 ） 学年（ 3 学年 ）

目指す授業

自分の考えをまとめ、将来の家庭生活を想像し、豊かな生活になるよう基本を身につけさせる授業。
持続可能な社会の実現のために、課題を見つけ、解決する判断力を実践の中から身につけさせる授業。



授業・アンケート等の課題分析

授業時数が限られるため、授業は、ハンドノートの活用とオリジナルプリントを使用し学習したが、定期考査の結果は5割であった。「生活を豊かにするものの製作」において、「ファイルカバー」に取り組み、手縫いの基礎技能とミシンの活用により製作できている。完成品を学習発表会に展示する。



成果と課題

成果

- ・作業に良い意味で慣れ、集中して課題に取り組めるようになった。その結果、長期休業中の課題の中の家族の感想の中にも「成長が見られてうれしい」等の感想が増え、生徒にも達成感が考えられている。

課題

- ・作業を通し、製作や料理などに積極的に取り組んでいるが、言語体系が整っていないために、評価・評定につながらない生徒がいる。繰り返し確認作業を行うようにする。